

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ヤマハ発動機株式会社 浜松ロボティクス事業所増築工事	階数	地上4F
建設地	静岡県浜松市北区豊岡町121-1他5	構造	S造
用途地域	指定なし、法第22条区域外	平均居住人員	1,200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,440 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2022年11月9日
敷地面積	25,973 m ²	作成者	圓山 雄太郎
建築面積	11,825 m ²	確認日	2022年11月9日
延床面積	33,866 m ²	確認者	圓山 雄太郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ★★★★★ 60% ★★★★★ 80% ★★★★★ 100% ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 外光を効果的に取り込む窓レイアウト。 既存建築物との一体感をもたせる建物デザイン。		その他 0
Q1 室内環境 メンテナンス性に優れた素材及び機能性に配慮した、既存建築物と調和の取れた内装計画。	Q2 サービス性能 各階高3.7m以上を確保し、空間形状・自由度に配慮。更新性がよく、信頼性の高い設備の採用。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内緑化による良好な景観の形成。防犯性に配慮した室外環境。
LR1 エネルギー LED照明の採用及び可能な限りの採光確保による省エネルギーを実現し、エネルギーの消費量の効率化。	LR2 資源・マテリアル 省水型機器・リサイクル材の採用による環境・資源への配慮。	LR3 敷地外環境 周辺地域に対する光害等に配慮した計画と対策の実施。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要			
建物名称	ヤマハ発動機株式会社 浜松ロボティクス事業所増築工事	BEE	1.7 BEEランク
		A	★★★★

2. 重点項目への取組み度			
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.6 /5		ふつう
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.4 /5		ふつう
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	4.1 /5		よい
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5 /5		がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	
		よい 4点以上	ふつう 3点以上
			がんばろう 3点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.6
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ①カーテンウォールにLow-eガラスを採用 ③ブラインドの採用 ④更新性のよい仕上げ材・部材の採用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑤今回計画建物付近の外構緑化指数20%以上の確保 ⑥既存建物を含めた外構植栽計画 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦BPI_m=0.86 ⑨BEI_m=0.69 ⑩中央監視システムによる省エネルギー化のサポート ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水型設備機器による環境配慮 ⑫電炉鋼(梁)におけるリサイクル資材の活用 ⑬GWPが低い断熱材の採用 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔	
	<ul style="list-style-type: none"> ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ⑦BPI_m=0.86 ⑨BEI_m=0.69 ⑩中央監視システムによる省エネルギー化のサポート 	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
	<ul style="list-style-type: none"> ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ⑪節水型設備機器による環境配慮 ⑫電炉鋼(梁)におけるリサイクル資材の活用 ⑬GWPが低い断熱材の採用 	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒
	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ⑭省エネルギー対策 	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	3.4
<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ⑯特級の耐震性能 	Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ⑯バリアフリーに配慮した内装計画 ⑱空間の形状・自由度の高い建物計画 	Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑱ 階高のゆとり ⑱ 空間の形状・自由度
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮) <ul style="list-style-type: none"> ⑲既存建物と一体感のある室外環境 		Q-3 3 3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	2.5
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑲生物環境の保全と創出/⑳まちなみ・景観への配慮/㉑敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> ⑲今回計画建物付近の外構緑化指数20%以上の確保 ㉑既存建物を含めた外構植栽計画 ■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/㉑温熱環境悪化の改善) 	Q-3 1 2 3 3.2	⑲ 生物環境の保全と創出 ⑲ まちなみ・景観への配慮 ㉑ 敷地内温熱環境の向上	
	<ul style="list-style-type: none"> ■敷地外環境対策 (⑲持続可能な森林から産出された木材/㉑温熱環境悪化の改善) 	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑲ 持続可能な森林から産出された木材 ㉑ 温熱環境悪化の改善